

# 災害時

大事なことが伝わらない!? どうしよう...!!

## 外国人にも伝わりやすい 『やさしい日本語講座』

防災や災害の情報は日本語が多く、日本語がわからない外国人には、避難場所や生活に必要な情報が届かないことがあり、災害にあってもすぐに日常生活にもどれないことがあります。

そこで、必要な情報を整理し、わかりやすいことばに置き換えて相手に伝えることが大切になってきます。それが「やさしい日本語」です。

日常会話で外国人や子ども、高齢者、障がいのある人など、誰にでも伝わる「やさしい日本語」を使ってコミュニケーションを増やし、まちをやさしいひとでいっぱいにしましょう！



令和7年

2/16 14:00~16:00

定員30人程度  
参加費無料

※会場を伊賀市総合福祉会館  
に変更しました  
~~土野東部地区市民センター~~

講義

やさしい日本語ってなあに？

実践

やってみよう！避難所の受付や情報発信  
外国人ゲストを相手に  
やさしい日本語でロールプレイ

講師

NPO 法人 伊賀の伝丸  
代表理事 和田 京子さん  
副代表理事 菊山 順子さん

対象者

住民自治協議会・自治会・区、民生委員児童委員など地域支援者、  
災害ボランティア、関心のある市民など、どなたでも

申込先

伊賀市災害ボランティアセンター

(事務局 伊賀市社協)

☎0595-33-0064 FAX0595-21-8123

令和5年度  
受講者の声から

相手のことを考え、  
優しい心で接することが  
大切 だと思った。  
みんなで、優しい伊賀市を  
作っていききたい。



普段から、  
やさしい日本語への  
言い換えを意識  
したい。

近所に外国にルーツの  
ある人が増えている。

やさしい日本語は、  
災害時だけでなく、  
地域交流にも必要な  
ツールだと感じた。



◀ 受講申込フォーム



※この事業は、伊賀市「令和6年度地域活動支援事業補助金」の補助を受けて実施します。